

各 位

一般財団法人日本語教育振興協会
理事長 佐藤 次郎

平成27年度日本語学校教育研究大会の開催について(通知)

当協会の事業運営につきましては、日頃多大の御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

このたび、本大会を別紙1の実施要項により開催することといたしましたので、多数の方に御参加いただきますようお願いいたします。

なお、参加申込みについては、教育機関の代表者による推薦のほか、個人の希望による直接の申込みも受け付けておりますので、下記の点に御留意の上、教職員にお申し込みくださるようお願いください。

なお、プレセッションの開催については、改めてご案内する予定です。

記

1 参加申込みについて

参加希望者は、当協会ホームページから別紙4、別紙5又は別紙6の「参加申込書」を取り出し、必要事項を記入の上、Eメール又はファクスで7月27日(月)までに提出してください(提出期限厳守)。団体割引利用での申込みは、別紙5を御使用ください。

なお、1校から多数の方の参加が可能であり、両日又はいずれか1日のみの参加でも結構です。参加費は、当日受付で申し受けます。

2 交流会について

1日目の日程終了後、交流会を実施しますので、御参加の有無を別紙4、別紙5又は別紙6の参加申込書に御記入下さい。会費3,000円は、当日受付で申し受けます。

なお、取り消される場合は8月4日(火)までに総務部あて連絡してください。連絡のない欠席の場合は、会費を徴収させていただきますので、あらかじめ御承知おき願います。

3 昼食について

大会当日の昼食は用意しておりませんので、各自でおとりください。

(添付資料)

問合せ先

- 別紙1 実施要項
- 2 大会趣旨
- 3 日程表
- 4 維持会員用参加申込書
- 5 団体割引について
- 6 一般参加者用申込書
- 7 会場地図

総務部 (小野寺陽子・上戸)
TEL 03-5304-7815
FAX 03-5304-7813
Eメール y-onodera@nisshinkyo.org
HP <http://www.nisshinkyo.org/>

●●●大会運営ボランティアスタッフ募集●●●

大会2日目に会場でお手伝いしていただけるボランティアスタッフを募集します。自由研究発表等の会場にて担当委員のサポートをしていただきます。時間は、8/11(火)14:00頃から2時間半程度の予定です。ボランティアスタッフは参加費が無料となります。詳しくは上記問合せ先(総務部)までお願いします。

平成27年度日本語学校教育研究大会実施要項

1 趣 旨

一般財団法人日本語教育振興協会維持会員機関に勤務する教職員等を対象として、日本語学校教育のより一層の充実並びに日本語教育機関としての社会的地位の確立を目指し、各機関で展開されている豊かな教育実践を機関を超えて共有することを通して教職員の資質の向上を図る。

2 日 時

プレセッション	平成27年8月 9日 (日)	発表展示等	10:30~16:30
大会1日目	平成27年8月10日 (月)	受付	9:10~
		研究協議等	10:00~17:30
		交流会	17:45~
大会2日目	平成27年8月11日 (火)	研究協議	10:00~16:15

3 会 場

国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟 及び センター棟

住所: 〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1

TEL 03-3467-7201 fax 03-3467-7797

4 参加資格等

- (1) 一般財団法人日本語教育振興協会の維持会員機関に勤務する教職員、その他関心のある者とする。
- (2) 1教育機関から多数の方が参加していただいて差し支えありません。ただし、定員を超える場合は、お断りする場合がありますのでお含みください。また、両日の参加が難しい場合は、1日だけの参加でも差し支えありません。

5 参加費 (1日目及び2日目)

- ① 維持会員機関：3,000円
 - ② 非維持会員機関、個人：4,000円
 - ③ 団体割引：維持会員機関から5名以上まとめてお申込みの場合は2,500円/1人
- } 当日受付で申し受けます。
- 7月27日までに振込みください。(別紙5-1参照)
- 8月9日のプレセッションは、参加費、事前申込みは必要ありません。当日、直接会場までお越しください。

6 交流会費 3,000円 (当日受付で申し受けます。)

7 日程及び内容

<u>8月9日 (日)</u>	
10:30~16:30	研究発表及び展示等
<u>8月10日 (月)</u>	
9:10~ 9:50	受付
10:00~10:30	開会挨拶・大会趣旨説明
10:30~12:00	基調講演
14:00~17:30	パネルセッション・日本留学 AWARDS 授賞式
17:45~	交流会
<u>8月11日 (火)</u>	
10:00~12:30	分科会
13:30~16:15	デモンストラーション・ポスター発表 プロジェクト発表・自由研究発表

<平成27年度日本語学校教育研究大会趣旨>

大会テーマ『日本語学校8万人のビジョンを考えるⅢ

～新しい日本語学校教育の質のかたち～』

大会委員長 江副隆秀 (新宿日本語学校)

学校教育は、運営者、学生、教授者、教育(手法・内容)の四つがバランスよく揃わなければ理想的な形にならない。日本語学校の場合も同じだ。いくら優秀な経営者がいても、海外の環境を熟知していなければ手腕は発揮できない。個人的にいくらいい先生でも、学校という職場を離れると、クラス授業での活躍の場を失う。それ以前に、学校があろうが、いい先生がいようが、日本語を学ぼうという学生がいなくなれば、日本語教育機関は成立しなくなる。

震災以降数年が経ち、来日学生が急増し、同時に急激に多数の日本語教育機関が誕生している。この現実を前に、我々はバランスよく環境を整える準備ができているのだろうかと思わざるをえない。急増する学生達と日本語教育機関は、それに対応できるほどの日本語教師を準備できていたのだろうか。

「日本が好きです」とか「日本で日本語の勉強をしたい」という来日希望者が、様々な障害を乗り越えて実際に来日しても、実際に日本語教育機関に入学しても、「自分の期待と合っていなかった」ということが発生することもある。しかも、最近はその傾向が増加していると伝聞で聞く。それは、日本語教育機関にも残念なことだが、それより学生本人にとって、悲劇的な結末を迎える可能性もある。

平成27年度日本語学校教育研究大会においては、過去の日本語教育機関の歴史も踏まえつつ、国内外で教育機関や教授法そのもので発生していることなども総合的に捉え、参加者の方々が本大会に参加した後、その翌日、再び教壇に立つ時に、何らかの役に立つ情報を汲み取っていただきたいと願っている。

更に、昨今は、日本語教育だけでなく、教育全般がICT技術を取り入れる方向に向かっている。時代に合った教育でなければ学生の要求には応えられなくなるのは時間の問題だ。

そうしたことを総合的に捉え直しながらこれからの日本語学校教育を問おうとするのが今年の日本語学校教育研究大会の趣旨と言えるだろう。

体の栄養を考えてもわかるように、バランスというのは、全体を考える時に無視できない考え方だ。日本語教育、日本語学校もその点は同じであると言える。

平成 27 年度日本語学校教育研究大会 日程

日 程 : プレセッション 平成 27 年 8 月 9 日(日)
 大 会 平成 27 年 8 月 10 日(月)、11 日(火)
 会 場 : 国立オリンピック記念青少年総合センター
 テーマ : 日本語学校 8 万人のビジョンを考えるⅢ ～新しい日本語学校教育の質のかたち～

プレセッション 8 月 9 日(日) 国際交流棟 レセプションホール

10:30～16:30	「日本語教育 e-learning 展示会」及び「日本語教育教材展示会」
-------------	--------------------------------------

大会1日目 8 月 10 日(月) カルチャー棟 小ホール

10:00～10:30	開会挨拶 一般財団法人日本語教育振興協会理事長 佐藤 次郎 文部科学省(予定) 大会趣旨説明
10:30～12:00	基調講演「インストラクショナルデザインから見た教育と学習」 向後 千春(早稲田大学人間科学学術院)

昼休憩 12:00～14:00

14:00～16:00	パネルセッション「新しい日本語学校教育の質のかたち」 1 ミニ講演「日本語学校の歩んできた道」 江副 隆秀(新宿日本語学校) 2 日本の公教育における教育の動向 3 国内外の高等教育・人材育成の動向 4 海外の日本語学習者の状況 ダビデ ロッシ(Gogonihon.com)
-------------	---

16:15～17:30	日本留学 AWARDS 表彰式
-------------	-----------------

17:45～ 交流会 カルチャー棟 2F レストランとき

2日目のみ参加の方は、101室前の受付(9:30～開始)にお越しください。
 1日目に受付がお済みの方は、直接各会場へお越しください。

大会 2 日目 8 月 11 日(火) センター棟

10:00～12:30	分科会 I 309 室 「地震発生！その時あなたは？ ～震災シミュレーションで学ぶ災害時の心得と行動手順～」 一般社団法人東京防災設備保守協会
	分科会 II 101 室 「日本語能力試験への対応と課題」 村澤 慶昭(武蔵野大学)
	分科会 III 416 室 「実践共有を通じた学びあい・その方法 3—非漢字圏学習者への取り組みをトピックに」 阿部 比呂子(東京中央日本語学院)、亀山 稔史(ABK 学館日本語学校)、竹野 藍(東京三立学院)

昼休憩 12:30～14:00

ポスター発表・デモンストレーション

センター棟 401 室

14:00～16:00	EJU「記述問題」教材づくりの実践報告 織田 とし江 他 4 人 ((学)長沼スクール東京日本語学校)
	学習者と日本人学生における交流企画～国際友活の会～実践報告 玉尾 文代 他 1 人((公財)京都日本語教育センター京都日本語学校)
	教室を飛び出して生き抜く力を学ぶ～地域との協働・プロジェクトワーク～ 村上 ひろ美(オーエルジェイランゲージアカデミー)
	性を扱った日本語授業の試み その意義と課題—LGBT を例として— 萩原 秀樹(インターカルト日本語学校)
	日本語学校におけるラボラトリー方式の体験学習の試み 高橋 直子 他1人(愛知国際学院)
	日本語学習を楽しむためのテキスト開発の試み—マンガを使った初級副教材作成— 辻 和子 他 2 人(ヒューマンアカデミー日本語学校東京校)
	場面に基づいたビジネス日本語指導 影嶋 知香子 (学)石川学園横浜デザイン学院
	AR(Augmented Reality 拡張現実)を利用した教材の開発 江副 隆秀 他 3 人(新宿日本語学校)
直感的な電子教材の作成・使用を可能にするアプリケーション Finger Board による新たな日本語学習体験の創造 都築 鉄平 他1人(インターカルト日本語学校)	

プロジェクト発表

センター棟 101室/309室/416室

14:00～15:25	日本語教育スタンダードを考えるプロジェクト発表
15:40～16:15	自己点検・自己評価等プロジェクト発表

自由研究発表

センター棟 101室/309室/416室

14:00～14:35 又は 14:50～15:25 又は 15:40～16:15 のいずれかの時間帯	物理の日本語は難しいか? ～専門教育への円滑な導入を目指して～ 喜古 正士(早稲田大学・日本学生支援機構東京日本語教育センター)
	文法運用力向上のための反転授業のデザイン 倉本 文子 他1人(カイ日本語スクール)
	アカデミックジャパニーズ習得を目指すノートテイキング授業の実践 —初級から上級にいたるまでのカリキュラムの一提案— 黒崎 亜美 他1人(ラボ日本語教育研修所)
	キャリアへの入り口 ライフサポート授業実践報告—日本語学校卒業生の「意識変化調査」(進路情報含む)を活用して —宮岡 余里子(JTC 日本語学校)
	初級クラスにおけるインターアクション授業の実践報告—振り返りを中心に 鎌田 亜紀子 他3人(友国際文化学院、早稲田大学)
	専門科目のレジュメにおける語彙・表現の分析 —予備教育における専門科目と日本語科目のアーティキュレーションを目指して— 石澤 徹(東京外国語大学)

16:15 終了

※なお、日程については当日一部変更になることがあります。御了承下さい。

当初認定番号

平成27年度日本語学校教育研究大会

《 参加申込書 》 《 4名までの場合 》

一般財団法人日本語教育振興協会

理事長 佐藤 次郎 殿

機 関 名 _____

TEL _____

FAX _____

標記の大会に参加を申し込みます。

記

(1) フリガナ 参加者氏名	職名	経験年数	○印をつけてください			
				教員	参加日	交流会
		年 月		職員一般	10日	参加
				その他	11日	不参加

(2) フリガナ 参加者氏名	職名	経験年数	○印をつけてください			
				教員	参加日	交流会
		年 月		職員一般	10日	参加
				その他	11日	不参加

(3) フリガナ 参加者氏名	職名	経験年数	○印をつけてください			
				教員	参加日	交流会
		年 月		職員一般	10日	参加
				その他	11日	不参加

(4) フリガナ 参加者氏名	職名	経験年数	○印をつけてください			
				教員	参加日	交流会
		年 月		職員一般	10日	参加
				その他	11日	不参加

留意事項：○EメールまたはFAXで7月27日(月)までに、お申し込みください。

Eメール y-onodera@nisshinkyu.org FAX 03-5304-7813

○交流会に参加の申込み後にキャンセルする場合は、必ずご連絡ください。

8月5日以降のキャンセルは会費を請求致します。

平成27年度日本語学校教育研究大会 団体割引について(事務連絡)

維持会員機関から5名以上まとめてお申込みの場合は、お一人2,500円の料金で
ご参加いただけます。

団体割引をご利用の際は、専用の申込書「別紙5-2, 5-3 団体割引用参加申込書」
により、FAXまたはメールにて連絡のうえ、7月27日(月)までに参加費をお支払いく
ださい。お支払い後のキャンセルや当日欠席の場合も払戻しは致しませんので御留意くださ
い。なお、お支払い済みで欠席された方には、大会終了後に予稿集及び当日配布資料を送付
します。

お申込み方法

- ① 別紙5-2, 5-3 団体割引用参加申込書に必要事項をご記入のうえ、Eメールま
たはFAXで7月27日(月)までに、お申し込みください。

Eメール y-onodera@nisshinkyō.org FAX 03-5304-7813

- ② 参加費の合計金額を7月27日(月)までに、下記振込先にお振込みください。

【振込先金融機関】

三菱東京UFJ銀行ユーエフジェイ(銀行コード:0005) 西新宿支店にしんじゅく(支店コード:646)

受取人名義:一般財団法人日本語教育振興協会いっばんざいだんほうじんにほんごきょういくしんこうきょうかい

口座番号 普通預金 1119510

※名義のカナ表記は「ザイ)ニホンゴキョウイクシンコウキョウカイ」となります
のでご注意ください。

留意事項

- ・送金の際は認定番号又は日本語教育機関名を御記入の上、手続してください。
- ・振込手数料は、各日本語教育機関で負担願います。
- ・領収書は、銀行の発行する振込金受領書をもって代えさせていただきます。

当初認定番号

平成27年度日本語学校教育研究大会
《団体割引用参加申込書》《5名以上の場合》

一般財団法人日本語教育振興協会

理事長 佐藤 次郎 殿

機 関 名 _____

TEL _____

FAX _____

標記の大会に参加を申し込みます。

申込人数 : _____ 人

入金予定日 : _____ 月 _____ 日

記

(1) フリガナ 参加者氏名	職名	経験年数	○印をつけてください			
			教員	参加日		交流会
		年 月	職員一般	10日	参加	
			その他	11日	不参加	
(2) フリガナ 参加者氏名	職名	経験年数	教員	参加日		交流会
		年 月	職員一般	10日	参加	
			その他	11日	不参加	
(3) フリガナ 参加者氏名	職名	経験年数	教員	参加日		交流会
		年 月	職員一般	10日	参加	
			その他	11日	不参加	
(4) フリガナ 参加者氏名	職名	経験年数	教員	参加日		交流会
		年 月	職員一般	10日	参加	
			その他	11日	不参加	
(5) フリガナ 参加者氏名	職名	経験年数	教員	参加日		交流会
		年 月	職員一般	10日	参加	
			その他	11日	不参加	

機 関 名 _____

()フリガナ 参加者氏名	職名	経験年数	○印をつけてください			
			教員	参加日	交流会	
		年 月	職員一般	10日		参加
			その他	11日		不参加
()フリガナ 参加者氏名	職名	経験年数				
		年 月	教員	参加日	交流会	
			職員一般	10日		参加
			その他	11日		不参加
()フリガナ 参加者氏名	職名	経験年数				
		年 月	教員	参加日	交流会	
			職員一般	10日		参加
			その他	11日		不参加
()フリガナ 参加者氏名	職名	経験年数				
		年 月	教員	参加日	交流会	
			職員一般	10日		参加
			その他	11日		不参加
()フリガナ 参加者氏名	職名	経験年数				
		年 月	教員	参加日	交流会	
			職員一般	10日		参加
			その他	11日		不参加
()フリガナ 参加者氏名	職名	経験年数				
		年 月	教員	参加日	交流会	
			職員一般	10日		参加
			その他	11日		不参加

一般参加者用

平成27年度日本語学校教育研究大会
《一般参加者用申込書》

平成27年 月 日

一般財団法人日本語教育振興協会
理事長 佐藤 次郎 殿

標記の大会に参加を申し込みます。

記

フリガナ		
参加者氏名		
所属先		
職名		
日本語教育経験年数 (あれば)	年 月	
右の欄に○印をつけてください。 参加費 4000 円。1 日のみ、2 日参加も同額です。		8 月 1 0 日 (月)
		8 月 1 1 日 (火)
交流会 (別途 3,000 円)		参加する
		参加しない
この大会を何で知りましたか。() 内に○印をつけてください。 () 当協会ホームページ () 日本語教育機関から () 教育研究大会ポスター () 知人から () その他 (具体的にお書き下さい))		

留意事項：○E メールまたは FAX で7月27日(月)までに、お申し込みください。

Eメール y-onodera@nisshinkyo.org FAX 03-5304-7813

○交流会に参加の申込み後にキャンセルする場合は、必ずご連絡ください。

8月5日以降のキャンセルは会費を請求致します。